

継続事業評価調書  
【道路事業】

土木局地域道路室

投資事業評価調書（継続：再評価）

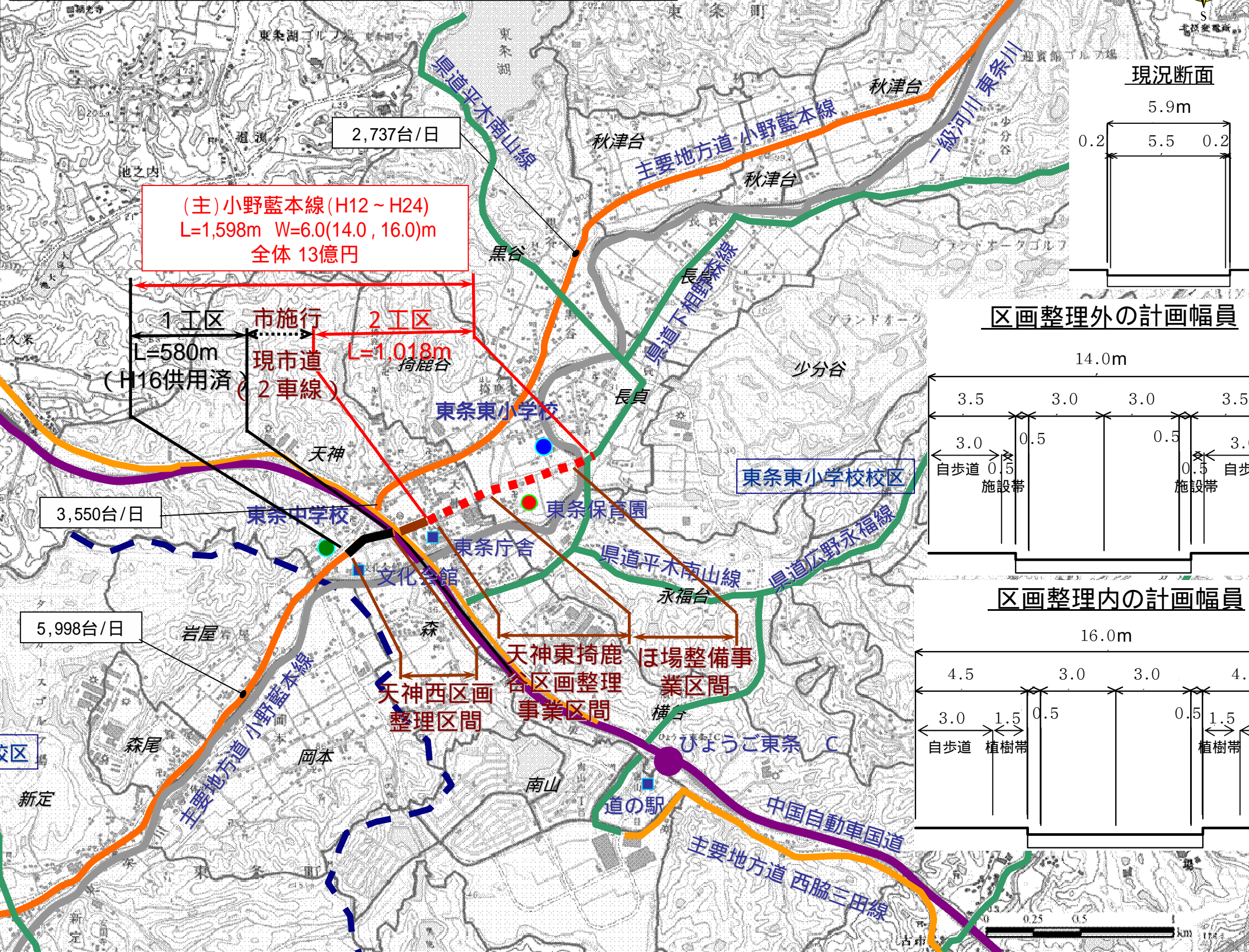
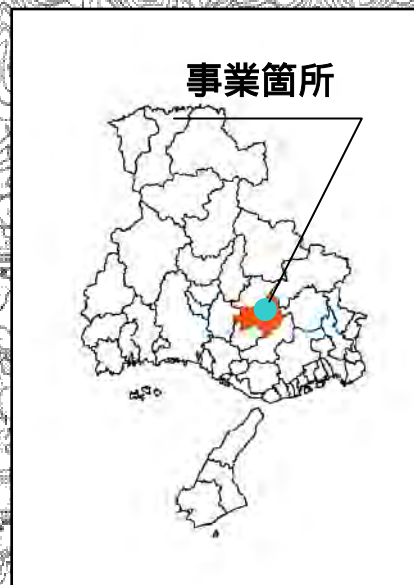
部課室名	県土整備部土木局 地域道路室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	地域道路室長 高井嘉親 (課長補佐兼県道係長) 中尾兼人	内線	4362 (4376)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	道 路	事業名		事業区間		総事業費	13 億円
		道路改築事業 主要地方道 小野藍本線		加東市 天神～長貞		内用地補償費	6 億円
所在地		事業採択年度	着工年度	完成予定 年度	進捗率 (内用補進捗率)	75%(100%)	
加東市 天神～長貞		H12	H12	H24	残事業費	3 億円	
事業の目的			事業内容				
<p>・(主)小野藍本線は、小野市の国道 175 号を起点とし旧東条町の中心地を経て三田市藍本の国道 176 号へ至る幹線道路であり、北播磨地域と北摂地域の交流・連携を促進するとともに、生活道路としても重要な役割を担っている。</p> <p>・本事業区間の周辺は、加東市東条庁舎、文化会館、小・中学校などが集積する旧東条町の中心地にあたり、福祉のまちづくり重点地域となっている。</p> <p>・しかしながら、本事業区間の現道は、幅員が狭小で大型車のすれ違いが困難であり、歩道が未整備であるなど交通安全上の課題を有している。</p> <p>・このため、本バイパス整備を行うことにより、安全で円滑な交通を確保し、地域間の交流連携を促進する。</p>			<p>道路改築事業 L=1,598.0m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 工区(天神西地区): L=580.0m (H16.8 供用)</li> <li>・第 2 工区(天神東～長貞地区): L=1,018.0m</li> </ul> <p>【構造規格】第 4 種第 3 級(平地部)</p> <p>【計画幅員】6.0 (14.0,16.0m) (2 車線+両側自歩道)</p> <p>【計画交通量】5,000 台/日</p> <p>【現況交通量】3,550 台/日 (H20.7 実測)</p> <p>【負担割合】国: 5 / 10、県: 5 / 10</p>				
事業を取り巻く 社会経済情勢等の変化		<p>・平成 18 年 3 月に旧社町、旧滝野町、旧東条町が合併し加東市が発足したことから、加東市の東の玄関口である旧東条町の新たなまちづくりとして、本事業区間(第 2 工区)において、天神東持鹿谷土地区画整理事業等の面的整備が行われている。</p>					
進捗状況		<p>・第 1 工区(L=580m)は、H16.8 に供用済み。</p> <p>・第 2 工区(L=1,018m)は、区画整理等で用地取得済み(H21 年度末予定)。本工事は未着手。</p> <p>・進捗率は、事業費ベースで 75%、用地取得で 100%である。(平成 21 年度末予定)</p> <p>・区画整理事業の着手の遅れに伴い、事業期間を 3 年延伸し、平成 21 年度完了から平成 24 年度完了とする。</p>					
評価視点		評価結果の説明					
(1)必要性 安全・安心の確保		<p>・現道区間は、幅員狭小で歩道が未整備であり、年間数件の人身事故が発生するなどしているため、本バイパス整備により、現道の交通をバイパスに転換させることにより自転車・歩行者の安全性を確保する。</p>					
地域の活性化		<p>・さらに、バイパス事業区間の沿道にある加東市東条庁舎や文化会館、小中学校等の公共施設へのアクセス性の向上など円滑で安全な交通を確保する。</p> <p>・また、区画整理と一体的に事業を行うことにより、新しいまちづくりを支援し、地域の活性化を図る。</p>					
(2)有効性・効率性		<p>・本事業を完成させることにより、円滑な交通ネットワークが確保できる。</p> <p>・区画整理事業と一体的に整備を進めることにより、効率的に課題解消が図られる。</p> <p>・費用便益比 B/C=3.4(全体)、12.4(残)</p>					
(3)環境適合性		<p>・通過交通がバイパスへ転換されることから、現道の沿道環境が改善される。</p> <p>・区画整理事業区間において、植樹帯を設置し、沿道環境の向上に努める。</p>					
(4)優先性		<p>・区画整理事業が行われており、面整備による事業効果の早期発現化を図るため、県道の先行的な整備が必要である。</p>					
再評価 の結果	継 続	左の理由	事業の必要性は事業採択当時と何ら変わっておらず、地域住民からも早期完成を望む声強いことから、継続して事業を実施する必要がある。				

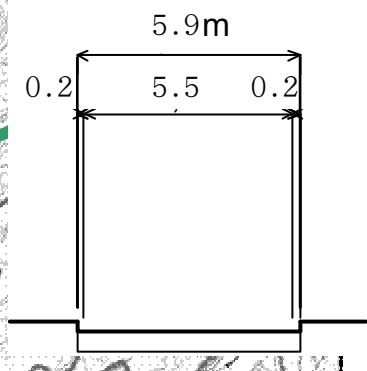
事業進捗状況概要図（継続：再評価）

事業名	道路事業	路線・河川名	主要地方道 小野藍本線
 <p>The map displays the project area for the 'Main Road' (小野藍本線). It highlights two construction zones: Zone 1 (1工区) with a length of 580m and Zone 2 (2工区) with a length of 1,018m. A red box indicates the main project details: (Main) Small No. Blue Main Line (H12~H24), L=1,598m, W=6.0(14.0, 16.0)m, Total 13 lots. The map also shows existing roads, rivers, and various landmarks like 'Tenshin West District' (天神西地区) and 'Hosokura' (ほくくら).</p>			
	事業進捗状況・予定		整備効果
全体	<p>H12～24年度【総事業費＝13億円】</p> <p>【第1工区】事業費5億円 L=580.0m 用地：2,660m<sup>2</sup></p> <p>【第2工区】事業費8億円 L=1,018.0m、橋梁1橋 L=46.5m 用地：10,980m<sup>2</sup></p>		
過去 10年間	<p>H12～21年度【事業費＝10億円】進捗率75%</p> <p>【全体】 供用延長 L=580.0m 用地進捗率 96%（H21年3月末） 100%（H22年3月末予定）</p> <p>【第1工区】平成16年8月 580.0m供用</p> <p>【第2工区】平成21年度まで用地買収100%完了予定</p>		<p>天神西地区の歩道整備により、沿道の東条図書館、東条中学校などの公共・公益施設へアクセスする歩行者の安全性が確保された。</p>
今後 3年間 (予定)	<p>H22～24年度【事業費＝3億円】</p> <p>【第2工区】 平成24年度的全線完成予定を目指す。</p>		<p>現道の交通をバイパスに転換させることにより自転車・歩行者の安全性を確保する。</p>

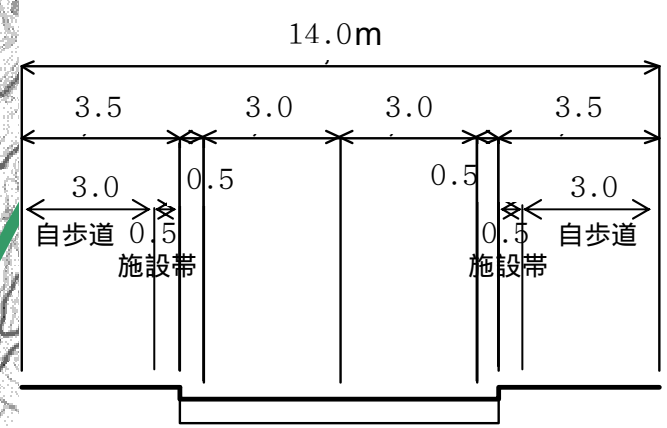
# (主)小野藍本線 天神バイパス位置図



現況断面



区画整理外の計画幅員



区画整理内の計画幅員

